

【部会・分科会活動報告】 2018年7,8月度

食 品 安 全 研 究 会	食品微生物研究部会	<p>1. 分科会活動</p> <p>(1) 芽胞菌研究分科会：進捗なし。</p> <p>(2) MALDI-TOF MS 研究分科会 7/13 にキューピー（株）にて座学講習会を開催した。参加者は27名+講師陣8名の計35名であった。情報交換会は26名の参加。講師としてNITEの川崎先生、千葉大の伴先生、島津製作所の寺本先生にセレウスや糸状菌の識別同定、MALDI 同定技術について御講演いただいた。</p> <p>(3) チルド勉強会 耐熱性試験等について検査法標準化プロジェクトとの協働を考えている。勉強会及び活動に関する打ち合わせを10月に開催予定。</p> <p>(4) 検査法標準化プロジェクト 進捗なし。チルド勉強会との協働予定。</p> <p>(5) NGS プロジェクト 進捗なし。公開シンポジウムの開催に向け、準備中。</p> <p>2. 2018年度 第3回部会全体会議（8/27） キューピー（株）仙川キューポートで開催した。 部会・勉強会は51名の参加、意見交換会は32名の参加であった。</p> <p>勉強会： 「MALDI バイオタイパーの認証取得と IR バイオタイパーについて」ブルカー社 宮脇様、 「生ビール製造における微生物検査法の開発」アサヒグループホールディングス(株) グループ食の安全研究所 鈴木所長、 「ナノポアシークエンサーを用いた迅速な細菌種の組成解析」東海大学 医学部 今西先生、 上記の3講師からご講演いただいた。</p>
	食品リスク研究部会	<p>1. ワーキンググループ活動</p> <p>1) 食品リスク評価新技術（WG2）：</p> <p>① 食品安全領域における動物実験代替の推進を強化するため、『ILSI-Japan 食品安全性評価領域の動物実験代替法推進プロジェクト（略称：ILSI-Japan AAT プロジェクト）』を発足、ILSI Japan 内で参加企業を募集した。8/27時点で12社の参加があった。今後WG2の活動は当プロジェクトに承継される。 ・予定：キックオフ会議 10/2、13:30～ @味の素（株）川崎事業所 ・予定：合宿 10/26~27@京都</p> <p>② ILSI Europe との動物実験代替推進に向けた協働：ILSI Europe 主催の食品領域の動物実験代替法に関するWORKSHOPの準備会議を参加者中心に8/10、国衛研にて開催した。</p> <p>2) 食品リスク評価課題解決（WG3）：老年医学専門家とのWG3内勉強会をILSI Japanにて開催した。</p> <p>① 演題：高齢者の健康と寿命の変化-データと科学的根拠を中心に 講師：桜美林大学老年学総合研究所 鈴木隆雄所長（5/29、9名参加）</p>

		<p>② 演題：高齢者医療のポイント：薬物療法の注意点など 講師：東京大学医学部附属病院 副院長 老年病科科長、東京大学大学院医学系研究科 加齢医学教授 秋下雅弘先生 (7/9、11名参加)</p> <p>2. 2018年第3回部会会議 (8/6) 味の素(株)川崎事業所にて開催。17名参加。 ・WG2、WG3進捗報告 ・味の素(株)カスタマーイノベーションセンター見学</p> <p>3. 部会勉強会を開催した (8/6) 味の素(株)川崎事業所にて開催。25名参加。 ・演題：安全性試験の意義、動物実験はなぜ必要なのか：医薬品開発の場合 ・講師：当機構理事、東京農業大学教授 中江大先生</p>
	香料研究部会	
バイオテクノロジー研究会		・2018年度 第4回目研究会は「ゲノム編集技術の最新動向」についての勉強会と9月3日に同時開催予定。
栄養健康研究会	栄養研究部会	<p>1. ILSI Japan シンポジウム開催 (7月) ・第9回 ILSI Japan ライフサイエンスシンポジウム『健康長寿の延伸につなげる栄養科学と運動科学の融合—基礎研究から応用研究まで—』を2018年7月26日(9:00~17:45)に東京大学弥生講堂一条ホールにて開催した。 ・講師の先生方、ILSI Japan のスタッフを含め、200名の方にご参集いただき、成功裏に終えることができた。</p> <p>2. 「イルシー」誌への寄稿 (8月) ・上記ライフサイエンスシンポジウムのフラッシュレポートを作成し、ILSI Japan 事務局に提出した。</p>
	GRプロジェクト	・GR多施設試験最終追試
	茶類研究部会・茶情報分科会	
食品機能性研究会		
寄付講座 「機能性食品ゲノミクス」		<p>・第Ⅲ期寄付講座(2013年12月開始、5年間)研究進行中。 ・9/18に総括シンポジウム開催予定。</p>
健康な食事研究会	ワーキンググループ1 (WG1) 科学的エビデンスに基づく日本人にとっての健康な食事の概念構築	◆8月1日 第10回勉強会、東京大学佐々木研究室 報告書作成に関して課題を整理した。先行研究の日本食の定義の分類と第1基準の問い「科学的に検証されている定義か」の表現に関して議論した。次回は10月上旬で日程調整中。
	ワーキンググループ2 (WG2) 外食・中食・給食の実態把握	◆7月27日 第5回ミーティング、インタビュー希望企業の業態別集計結果の確認と作業分担グループ分けを実施した。健康や栄養に関して消費者向けメッセージや取組みを問う質問を整理した。 次回は未定
	ワーキンググループ3 (WG3) 健康な食事の伝え方開発と社会実装による効果検証	<p>◆7月24日 勉強会、長野県健康福祉部ご担当者様による講演会(信州ACEプロジェクト)</p> <p>◆8月8日ミーティング 健康経営企業の食を中心としたインタビューを通して社会実装の類型化を行うために、長野県の事例をメンバー間で意見交換した。今後、参加メンバーが1社1団体訪問する方向で事例を蓄積する。次回ミーティングは11月末を予定。</p>
	研究会全体	◆9月10日 第6回全体会議 各WGの進捗報告と活動計画の報告。第7回全体会議は1月を予定。
C H P	Project PAN (Physical Activity and Nutrition)	<p>7/10 震災被災地支援：いしのまきテイクテン(石巻専修大学、南堺第四団地集会所、宮城県)</p> <p>8/16 自主サークルスカイテイクテン(押上オレンジルーム、墨田</p>

	<p>区)</p> <p>8/21 ・リーダー講習会 (吉賀町社会福祉協議会) ・テイクテンきよらプロジェクト会議 (吉賀町福祉センター会議室) 参加者; 津和野町シルバー人材センター、益田市シルバー人材センター、岩国市社会福祉協議会、吉賀町社会福祉協議会、吉賀町地域包括支援センター各代表者、ILSI Japan ・テイクテン講座 (吉賀町七日市公民館)</p> <p>8/22 テイクテン講座 (吉賀町立戸サロン/ 抜月サロン、島根県)</p>
Project SWAN (Safe Water and Nutrition)	特になし
Project IDEA (Iron Deficiency Elimination Action)	栄養改善事業推進プラットフォーム (NJPPP) の委託事業としてのカンボジアでの栄養改善プロジェクト (栄養強化米による工場食の栄養改善) について、人間総合科学大学およびカンボジアのパートナーである RACHA (Reproductive and Child Health Alliance) と業務委託契約を締結した (8月)。
CHP 全体	特になし
国際協力委員会	<p>委員会開催 2018年7月5日(木) 15:00~16:30</p> <p>【議題】 2018年 BeSeTo 会議とサテライトシンポジウムの発表テーマについて、他</p> <p>1. BeSeTo 会議に先立ち行われるサテライトシンポジウムにつき、事務局より更新情報が共有された。</p> <p>① キーノートは日本からの山口大学の豊福先生に加えて台湾の Dr. Yao-Wen Huang の2名が演者となった。</p> <p>② 各支部は、国もしくは地域の食品の微生物規格基準設定とサンプリングプランおよびリスクマネジメントに関してその取り組み状況をアップデートする。ただし日本の情報は豊福先生の講演の中に含めていただく。</p> <p>2. BeSeTo 会議での日本からの発表テーマの件を前回に引き続き協議し、5つに絞った。このうち2つのテーマに関しては、その専門性の観点から国際協力委員会委員以外からの発表が望ましく、事務局を通して候補の方々へ可能性を打診し7月半ばまでに回答得ることになった。</p> <p>3. メンバーの異動・交代の案内: 7月1日をもって、事務局長が宇津氏から中村氏に交代となったことと、その他委員の所属変更などが委員間に共有された。</p> <p>委員会開催 2018年7月25日(水) 15:00~16:30</p> <p>【議題】 2018年 BeSeTo 会議における日本からの発表テーマについて</p> <p>前回の委員会での議論を受けて、日本からの発表テーマと演者候補者を決めた。</p> <p><u>BeSeTo 会議での日本からの発表テーマ:</u></p> <p>前回の委員会後、2つのテーマに関しては専門性の観点から国際協力委員会メンバー以外の演者候補の方々に発表の可能性を打診した結果、この2つのテーマは発表から外すことに決定した。</p> <p>事務局長より、次の台湾事務局からの更新情報が共有された。</p> <p>① 中国が、香料と香水など化粧品に関する法規改正に関して発表</p>

	<p>する予定である。</p> <p>② その際、最近アジア地域では香料に関する大きな法規改正が続いているので、長めの Q&A セッションを設け各国の状況を共有して欲しいとの要望があった。</p> <p>これを受けて、日本からは予定していた発表枠の他に本件の Q&A セッションでの日本の状況を共有する発表者を決めた。</p> <p>議論の結果、上記に加えて以下のテーマが決定し、演者候補者も決定した。</p> <p>(Regulatory)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. The latest update of Food regulation in Japan: 2. The latest update of Additives regulation in Japan: (Food safety issues and/or incidents) 3. Major incidents in Japan: <p>(Others)</p> <ol style="list-style-type: none"> 4. “ILSI Japan’s activities to enlighten the pharmacist for functional foods”: <p>議論の中で、それぞれのテーマの具体的な発表内容について様々な意見が出たが、最終的な発表内容は演者に一任することとした。</p> <p>台湾事務局からはまだ締め切りの案内が来ていないが、演者は8月末を目途に発表マテリアルの準備を進める。</p>
情報委員会	<ol style="list-style-type: none"> 1. 委員会開催 2 回 (7, 8 月) 2. ホームページ <ul style="list-style-type: none"> ・ 日常業務としての更新 (随時) 3. 「栄養学レビュー」誌 <ul style="list-style-type: none"> ・ 26 巻 4 号 (通巻 101 号) : 8/10 刊行 ・ 27 巻 1 号 (通巻 102 号) : 翻訳、監修、編集 (11/10 刊行予定) ・ 8/29 編集委員会開催 (通巻 103 号の採択論文・翻訳者候補決定)
編集部会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「イルシー」誌 135 号原稿編集 (9 月刊行) ・ 「イルシー」誌 136 号原稿編集 (11 月刊行予定) ・ 137~139 号原稿依頼検討、編集

【講演会・シンポジウムご案内】

講演会名	案内	担当研究部会
ILSI Japan 寄付講座 「機能性食品ゲノミクス」主催シンポジウム	<p>「機能性食品化学の基盤から実用化に至る統合的成果と新たな息吹き」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 開催日：9月18日(火) 12:30-18:00 ・ 場所：東京大学弥生講堂一条ホール 	事務局

【事務局からのお知らせ】

理事会	<p>○第4回理事会が、平成30年7月24日(火)に開催された。</p> <p><決議事項> 今回なし。</p> <p><報告/討議事項></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 研究会活動の活性化 <ol style="list-style-type: none"> ア) 「栄養とエイジング」国際会議 企画案 <ul style="list-style-type: none"> ①趣意書、②プログラム及び講演者、③投稿ジャーナル、④助成団体の内容が説明され、それぞれ議論された。 イ) 健康な食事研究会進捗報告
-----	---

	<p>全体会議と各WGの活動報告と今後の予定を説明。</p> <p>ウ) 寄付講座総括シンポジウム 9月18日(火)に東大の弥生講堂にて、寄付講座の総括シンポジウムを開催する予定。タイトル(案)は「機能性食品科学の基礎研究から開発研究の統合的成果と新たな息吹き」。</p> <p>エ) 動物試験代替タスクフォース 「ILSI Japan 食品安全領域の動物実験代替法の推進プロジェクト(略称 ILSI Japan AAT プロジェクト)」を発足予定(9月～)。ILSI Europe が9月に開催するワークショップに AAT プロジェクトから参加予定。</p> <p>オ) その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2018年の BeSeTo 会議 台北にて、9/13～14にて開催。日本から山口大学の豊福先生に講演していただく予定。 ・NGS プロジェクト ILSI Europe と “Food Microbiology” へ共同投稿 2019年春 公開シンポジウム開催予定。 ・バイオテクノロジー研究会。ERA ワークショップを11月開催予定。 <p>2. ILSI 本部関連報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ガバナンス強化 ILSI 総会の構成及び理事選任方法の見直し、及び理事構成の見直し。 ・2019年総会時のサイエンティフィック・プログラムは北米が3セッション、他支部が3セッションを企画し、外部へオープンなセッションを開催予定。 <p>3. 戸上理事の CHP 代表退任のご挨拶</p>
事務局	<p>7月1日付にて事務局長が、花王(株)より出向の宇津敦氏から、次長の花王(株)中村英世氏に交代。</p> <p>7月2日付にて味の素(株)より出向の取出恭彦氏が事務局次長に就任、戸上理事の CHP 代表の後任となる。</p>